



1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長: 高橋建二 副会長: 森誠司 幹事: 嶋田政光 クラブ会報・IT 委員会委員長: 繩嶋智徳

2025年12月11日 第 3549 回 週報第 3549 号

例会日 毎週木曜日 12:15~13:30  
会場 グランドホテル神奈中 2F  
事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内  
連絡先 0463-23-5955 (事務局)

本 日 12月 11日	会員数 67名	対象者 66名	出席者 42(41) 名	出席率 62.69 %			
前々回 11月 20日	会員数 66名	対象者 65名	出席者 34(33) 名	出席率 51.52 %	MUP 4名	計 38名	修正率 57.58 %

## 第二回情報集会報告会

テーマ

例会の工夫について  
(例: 食事・時間・座順・卓話時間の使い方など)

赤グループ 嶋田政光グループ幹事  
発表者: 秋山智グループメンバー

### 1. 開催日時

2025年11月14日(金)  
18時30分~20時30分



### 2. 開催場所

グループのメンバーである  
笹尾さんにご配慮いただき  
「割烹 竹葉」さんで開催

### 3. 出席メンバー (◎幹事、○副幹事)

杉山昌行さん、馬上さん、山口さん、秋山さん、笹尾さん、事務局吉野さん、嶋田の7名で開催(ご欠席は大澤さん、葛西さん、岡田さん、小澤さん)

### 4. 検討テーマ

「例会の工夫について(例: 食事・時間割・座順・卓話時間の使い方など)」について自由に意見交換

### 例会の運営方法に関する改善案

#### ・時間配分と回数:

- 現在のスケジュール感は概ね良好だが、卓話の時間を30分から40分に延長する案が出た。ただし、終了時間は午後1時半を維持すべき。
- 祝日や第5週に例会がないのは理解できるが、IMや地区大会がある週も通常例会を開催してはどうか。月に1~2回しか会えないのは寂しいとの意見があった。

#### ・食事:

- 以前より食べやすく、味も良くなつたと高評価。
- 若い世代とベテラン世代双方のニーズを考慮したカロリーバランスが重要との指摘があった。

#### ・卓話内容:

- ロータリーの基本は守りつつ、AIなど新しいテーマや若者世代の流行を取り入れた内容も必要ではないかとの意見が出た。

#### ・会場の変更:

- 雰囲気を変える刺激として、忘年会やクリスマス例会での会場変更事例も共有された。

#### 会員参加率の向上と交流促進

##### ・課題:

- 一部会員の参加率が低い。
- 席が固定化しがちで、仲の良い人同士で固まってしまい、新しい会員や若手がベテランと話しづらい状況がある。
- 世代間の意識差(例:若者の飲み会不参加傾向)や、コロナ禍による対面コミュニケーションへの苦手意識も背景にある。

##### ・提案:

- 参加しやすい雰囲気作り:
  - ・例会より気軽な「情報集会」を活用し、参加率の低い会員が来た際には拍手で歓迎するなど、参加のハードルを下げる。
  - ・欠席しがちな会員には、幹事などが積極的に声をかけ、理由をヒアリングする。

##### ○役割の付与:

- ・役職や役割がなくなると参加意欲が低下する傾向があるため、何らかの役割を与えることが有効ではないか。

##### ○席の工夫による交流促進:

- ・強制的な席替えは難しいが、テーブルごとにファシリテーターを置く実験的な試みが提案された。
- ・情報集会が年間3回の開催であれば、情報集会ごとに色分けしたテーブルを3ヶ月程度固定し、グループ内交流を深める。
- ・受付で席番号を割り振り、エリアを週ごとに入れ替える。
- ・メンバー同士が仲良くなつた方が良いので、円卓を会議用テーブルなどに変更し、距離を縮めて話しやすい環境をつくってみてはどうか。

##### ○湘南ロータリーの事例:

- ・数ヶ月単位でグループを固定し、グループ幹事がLINEで出欠確認を行う。これにより出席率が向上し、食事の無駄も削減された。

##### ○若手とベテランの交流:

- ・若手からベテランの趣味(野球、サッカーなど)を

リサーチして話しかけたり、隣に座るなど積極的な関わりが求められる。

・卓話の時間の有効活用として、卓話を無くしてグループごとにディスカッションを行ってみてはどうか。

## デジタル化の提案

### ・デジタル化の推進：

○スマイル報告や寄付をデジタル化（電子決済）する提案があった。手書きや事務処理の手間を削減できる可能性がある。

○結論：セキュリティ面（個人情報、口座情報）での懸念が指摘され、慎重な検討が必要。現金決済を好む意見もあった。

私見として情報集会ではとても良い意見が出ているが、それを反映できていないところに問題があると感じているので、伝統を重んじながら良いものは取り入れていく流れを、皆さんと協力してつくっていきたいと思います。

## 橙グループ 濑尾光俊幹事

発表者：瀬尾光俊グループ幹事

12月4日（木）に「MARE YUHIGAOKA」にて清水孝一会員、片野之万会員、高橋賢二会員、鈴木忠治会員、柳川信男会員、青木薰会員、加川淳会員、瀬尾光俊会員の出席にて行いました。

テーマ「例会の工夫について」について8名で話しました。

### ①現況について

- ・マンネリ感がある。
- ・JC・YEGで固まりがちで未経験者には和に入りにくく居心地が悪い。
- ・年度通してほとんど話せていない方が出来てしまう。
- ・もっと会長の意向を出しても良いと思う。（会長経験者より）



### ②これからについて

・2か月間の席固定が良いと思う。固定した最初の例会では、卓話なしでテーブル毎にフリートーク。題目は有り無しどちらでも良く親睦を目的に行い、2回目より通常例会とすると多くの会員と話す機会が増えて良いのではないかでしょうか。

・オープン例会の開催。一般の方々も参加できるよう誘導して、平塚RCのPRなど行い当クラブへの認識向上から会員増強へつなげていく。

・新会員以外の会員の卓話も聞いてみたい。

最後にこのような意見案を精査改善し、70年の節目に実行していくことで、より魅力あるクラブへつながるものとし、橙グループ情報集会を締めました。

## 黄グループ 元吉裕員グループ幹事

発表者：元吉裕員グループ幹事

出席者：元吉裕員、米山範明、升水一義、米山俊二、和田克己5名（中谷啓秀、柏手茂、関口幸恵、飯塚和夫、高橋茂久、山森啓太）

2025年11月25日（火）18時30分～  
2時からビール どん

テーマ：例会の工夫について  
(例：食事・時間割・座順・卓話時間の使い方など)

### ■ 全体要約（テーマ別）

#### ①席次（座席）と色分けグループの活用

大体いつも同じ席に同じ人が座るため、交流が固定化してしまう問題がある。

色分けグループを作ったのに「当日のみ」で終わりがちで、継続活用がされていない。3ヶ月間固定して出席率を競うなど、継続的な取り組みをすると出席向上につながるのではないか。



くじ引きや色別シャッフルをもっと活用したい。

#### ②出席率や夜間例会について

近年、例会自体の回数が減っている（休日・中止・コロナ影響など）。

夜間例会の参加者が減少しているが、内容によって参加する人もいる。

以前は「100%出席が当然」だったが、最近は出席に対する意識が弱くなっているとの指摘。

仕事が忙しく、毎週決まった時間に集まるのが難しい会員も増えている。

## 緑グループ 今村佳広グループ幹事

発表者：今村佳広グループ幹事

テーマ：例会の工夫について（食事・時間・座席・卓話）  
発表者：今村G幹事

### 1. 背景と目的

今回のテーマとは、「例会はクラブの価値をつくる中核活動であり、参加率や会員満足度に直結する。」ものであります。

会議は11月25日（火）  
18:30～竹葉さま



参加者は高橋建会長、相原さん、白石さん、森さん、平井さん、前田さん、チャンさん、原田さん、今村（9名）美味しい料理とお酒を堪能し、和やかな雰囲気で終始活発な意見交換となりました。

## 2. 緑グループの改善提案（4分野）

### ① 食事の改善案

月に1回は\*\* ビュッフェ形式を導入できないか。  
→ 交流が活発になる／準備・提供のスムーズ化  
中華の日を設ける。  
→ 会員満足度アップ、変化と楽しさを創出  
アレルギー・苦手食材の事前アンケート

### ② 時間・進行の改善案

例会時間配分は現行を概ね維持  
夜例会を増やす\*\*（年4~6回を目安に）  
→ 若手・経営者層が参加しやすい

作業着参加OKにする（バッジ着用を条件）  
→ 多様化・会員への時間的配慮

### ③ 座席の改善案

月単位での固定席  
→ 月内の交流継続、翌月は新しい組み合わせ  
シャッフルテーマを設定  
干支別、誕生月別など  
業種別（建設・不動産・土業・医療・ITなど）  
→「普段話さない人」と自然につながれる

### ④ 卓話の改善案

委員会卓話（2委員会合同）  
→ 会の活動理解が深まる、会員への露出拡大  
→ 会員増強のきっかけ作り

年度マタギの連続卓話（前後編スタイル）  
例：「平塚市の未来①」「平塚市の未来②」  
→ 学び・考察系の卓話の質が高まる

学びある卓話を重点化

- 健康 - 経営 - 歴史 - 地域活性 - 災害対策 など

新会員卓話を早期に実施  
→ 会員紹介・関係構築に最適

地元ネタ卓話の強化

\*「平塚の海岸線シーテラスは今どうなっているか？」  
\*「スタジアム建設の可能性」  
\*「県内インフラの最新動向」  
\*「商工業の未来」  
→ 会員の興味度が最も高く、学びに繋がる

## 3. 導入した際の期待効果

例会が“楽しい・参加したい”場に変わる

\* 多様な働き方・参加スタイルに対応  
\* 新規会員・若手会員の参加促進  
\* 会の活力向上  
\* 会長方針「活気あるクラブづくり」を後押し  
\* 地域に根ざした“学びと交流”が深まる

## 4. まとめ（発表者コメント）

「例会を改良することは、クラブの未来をつくること。」  
食事の工夫、時間と運営の多様化、座席の見直し、卓話内容の強化。

この4つを改善していくことで、より参加しやすく、学びと交流に富んだクラブ運営が実現できることを願い、緑グループの発表とさせていただきます。

### 青グループ 小林誠グループ幹事

発表者：小林誠グループ幹事／守屋宣成グループメンバー

日時：2025年12月9日

場所：飛翔にて

参加：常盤、杉山利行、小林、新堀、守屋、繩島 少数精銳で6名（ちなみに残念ながら欠席は、木村、小野、今井、青山、大井）敬称略

テーマ：例会の工夫について

### ★卓話

身内の卓話が多いので「平塚ロータリーだと、こんな人に会えるんだ！」「この人の話が聞けるから入会してよかったです」と思える卓話者があると良い。インパクトがある卓話者は出席率も上がるのではないか。



例えば、日本銀行横浜支店支店長、神奈川大学、東海大学の理事長など。最近では岡田屋モアーズの岡田さんはインパクトありがとうございましたがなかなか会えない方です  
また、先輩方の卓話も聞きたいと考えます 特に長くロータリーを経験されている70代以上の方の話を聞いてみたいです

### ★例会時間

月に1回は夜例会の開催をしたいです  
出席率は上がらなくても参加者が変わることに意味があります

### ★テーブル

くじ引きが良い  
30-40代、50-60代、70代以上をそれぞれの世代として、3世代がミックスしたテーブル割り

### ★食事

フードロスを掲げているのであれば、セルフでカレーがあっても良いのではないか  
セルフでカレーだけだと寂しいからトッピングも多めに欲しい（新堀談）

### ★まとめ

参加率アップ、若手会員の満足度向上、会員同士の交流強化、学びある例会  
を常に意識して活動していく必要があると思います  
何より、平塚ロータリークラブは他クラブよりも「品」を大切にしていきたい  
格式の高いクラブとして個々が振る舞い、地域の中心であるロータリークラブとして自覚していきたいですね  
情報集会では初めてプロジェクトを使い報告いたしました

QRコード参照ください  
(守屋さんがA1で作成  
しました!スゴイ!)



以上



会場で投影したスライドを見ることができます

## 紫グループ 永瀬剛司グループ幹事 発表者：永瀬剛司グループ幹事

日時：令和7年12月3日（水）

場所：割烹竹葉

令和7年第2回情報集会（紫グループ）報告です。参加者は9名（幹事永瀬、副幹事松本さん、鳥海さん、清水裕さん、江藤さん、阿形さん、中野さん、芦川さん、又城さん）。

「例会の工夫について  
(例：食事・時間割・座順・卓話時間の使い方など)」

食事開始時間12:00  
は妥当である。12:30に点鐘、13:00に卓話を開始し、その時間を30分しっかりとることが重要である。以前のように12:30食事開始だと、卓話の時間がしっかりととりづらくなる。食事について、他のRCでは、Serveして出てくるところは少なく、恵まれている方である。RCによっては、生の弦楽演奏つきのところもあれば、自分でカレーをよそって食するところもある。平塚RCとしては現状維持で良い。食事内容については、好き嫌いに合わせることも大切である。フードロスは以前より減っているが、より減らすこととも考慮する。一方、以前より、料理メニューが増え、この点はとても良い。

時間割は現状のままが良い。スマイルの際、一人一人内容を読み上げず、まとめて名前だけ読み上げて、内容を話すことによって時間を短縮することできる。時間短縮が必要な際には、スマイル時間を短縮することで対応できる。

座順については、基本、好きにするのが良い、各人、居心地の良い場所があるのも事実である。一方、新人の時には、様々な席に座って、メンバーと交流をするのも良い。一案として、情報集会のメンバーで同じテーブルとするのも良いのではないか。現在、年に3回情報集会があるので、4ヶ月は同じテーブルとなる。全員参加したら、座れないという問題はあるが。

卓話時間の30分は妥当である。とにもかくにも、卓話中は寝ないことがとても重要である。

全体として、平塚RCは例会をしっかりとやっている。

### 幹事報告

#### ◎米山「国際交流会・忘年会」について

12月14日に米山学友会主催「国際交流会・忘年会」が開催されます。

米山奨学生のガウリさんと地区米山奨学委員会の米山委員長が出席されます。

#### ◎平塚市青少年問題協議会開催について

12月16日平塚市青少年問題協議会が開催されます。今年クラブより当協議会委員になられました守屋会員が出席されます。

### 委員会報告

#### ○プログラム委員会 松本崇委員長

来年一発目の例会、ニューイヤーコンサートのご案内をさせていただきます。1月8日ニューイヤーコンサートを開催させていただきます。

例会を18時から30分間行いまして、18時半から20時までコンサートを行います。大鼓、そして琴と和楽器を十分に楽しんでいただければと思います。ぜひ皆さん、ご出席の方よろしくお願ひいたします。

#### ○小林誠 AG 幹事長

インターミッティングのお知らせをさせていただきます。三荒AGが中心となって8グループで、いまインターミッティング、IMを企画しております。今年は、大磯クラブと二宮クラブがホストであります。会場は、大磯プリンスホテルです。いろいろと皆さんにご協力頂くのと、各クラブの奉仕活動などの発表や、懇親会では各クラブが、歌とか踊りとかを披露するという、意外と手作り感が満載のIMとなっております。また、今回大磯という歴史のある町で開催されるので、エリザベスサンダースホームの澤田美紀記念館、また鷗立庵を見に行くという、エクスカーションも開催します。IM自体は、2月7日の12時半からですが、その前に9時30分からバスで、大磯の町を特別にまわるエクスカーションも企画しておりますので、ぜひ参加していただければと思います。

また、去年のIMから入会された方は新会員の紹介もありますので、ぜひ参加の方よろしくお願ひいたします。

### 今週のお祝い

誕生日祝い…無し 結婚祝い …無し

メークアップ (MUP) 4名

笹尾茂樹会員、清水裕会員、新堀将一会員、米山俊二会員

本日のスマイル 17名+6グループ

ゲスト・ビジター 0名

卓話・行事予定

12月18日(木) 地区財団資金推進・ポリオ委員会委員長 富岡弘文様

12月25日(木) クリスマス家族夜間例会

1月 1日(木) 休会

第8グループ例会変更 現在ございません

